

令和2年度「地方消費者行政に関する先進的モデル事業」

誰も取り残さない消費の為のAI活用情報プラットフォーム整備事業

<事業実施報告書>

2021（令和3）年2月

株式会社ウェイストボックス

(1) 事業の実施期間

令和2年6月23日～令和3年2月26日

実施時期	実施事業	備考
6月	契約締結 事業着手	
7月	関係者キックオフ会議の開催	
8月	取材着手、アプリ開発着手	
9月	リデザインプロジェクト第1回勉強会の開催	
10月	リデザインプロジェクト第2回勉強会の開催	
11月	ウェブサイト「エシカリング」開設記念イベントの開催	オンライン開催
	リデザインプロジェクト表彰式の開催 ウェブサイト「エシカリング」開設	
	AIを活用したアプリの実証	6か所で実施
12月	AIを活用したアプリの実証	3か所で実施
2月	SDGs AICHI EXPO 2020への出展	オンライン出展
	エシカルファッションショーの開催	オンライン開催

(2) 事業の実績

①事業内容等

エシカルは伝えにくいという課題を解決するために、AI 技術を用いたアプリも活用しながらエシカル商品・サービスに関する情報発信のためのプラットフォームを構築し、一般消費者のエシカルへの認知度向上促進を図った。

※詳細は「別添説明資料」を参照

②事業の実施方法等

愛知県を対象とし、地域で先進的な取組を行っている2事例（リデザインプロジェクト、フェアトレード名古屋ネットワーク）をモデルとし、それぞれの取組におけるエシカル要素の情報を以下の方法で発信した。

■共通

- ・ 情報発信のプラットフォームとして、エシカルの取組事例を紹介したウェブサイト「エシカリング」を作成。このウェブサイトを通して情報発信するとともに、本事業終了後も各団体で随時更新していく仕組を構築した。
- ・ AI を活用した自社開発アプリを用いて、「エシカリング」に掲載したコンテンツを商品等に紐づけて、商品の販売現場で消費者に体験してもらう実証を行った。

■リデザインプロジェクト

- ・ 企業や障害福祉施設の職員、学校関係者、販売者など、本プロジェクトに関わるさまざまなステークホルダーが参加しての勉強会を開催。
- ・ 小売店等で、障がい者施設で実際に生産されている小物（リース）を作ってもらうための体験イベントを催した。また、商品の販売に合わせてAI アプリの実証を行った。

■フェアトレード名古屋ネットワーク

- ・ 「エシカリング開設記念イベント」と銘打ち、「カンボジアとネパールと愛知名古屋をつなぐ”人と食”」をテーマにオンラインイベントを開催。海外の「生産者の顔」を届けるとともに、エシカルについて学ぶための講演を行った。
- ・ 「フェアトレードファッションショー」をオンラインで開催。上記「エシカリング開設記念イベント」と同様、現地（海外）の生産者をつなぎ、トークセッション等を行った。

※詳細は「別添説明資料」を参照

③事業の成果等

ウェブサイト「エシカリング」では、エシカルの普及啓発に関する情報を掲載するとともに、実際の取組について取材を行い、記事として取りまとめたものを掲載することで、

生産者の顔や商品のストーリーなどを発信することができた。

この「エシカリング」をプラットフォームとした AI 活用型アプリについても、想定通り実施することができ、消費者アンケート等を通し、その有効性を実証することができた。

これらの情報発信プラットフォームの構築は、モデルとした 2 団体（リデザインプロジェクト、フェアトレードタウン名古屋ネットワーク）の活動を更に盛り上げるための動機付けになるものである。さらに、本事業終了後も、各主体が自ら「エシカリング」を更新していく仕組みとしたことで、地域のエシカル情報の継続的な発信ツールが生まれた点も、本事業の大きな成果の一つといえる。

また、本事業で実施した勉強会等を通し、企業や障害福祉施設の職員、学校関係者、販売者など取組に関わる多くのステークホルダーが、各主体の取組状況や課題について意見交換を行えたことで、今後、各主体がより深く SDGs やエシカルを理解することができ、活動の励みにもなった。

今後、「エシカリング」というプラットフォームを通し、今回取り上げた団体以外の地域の特色ある取組を発掘し、エシカル情報発信の輪を広げていくこととしたい。また、ウェブサイトやアプリを活用したこうした仕組みは、他の地域でも十分展開ができるものであり、地域の特性に応じたエシカル情報の発信の可能性を広げる手段であると考えている。

なお、本事業については、コロナ禍でイベントの開催方式等への影響はあったものの、オンラインを活用しながら実施方法を工夫することにより、枠組みを変更することなく事業を遂行することができた。特に、11 月と 2 月に実施したフェアトレードのオンラインイベントでの、海外の生産者をリアルタイムで中継しながらの試みについては、現地で働く方々の作業風景を配信するなど、視聴者が現地の雰囲気に触れながらエシカルを知る独創的なイベントとすることができ、今後同様のイベントを計画する際の参考にもなり得るものであった。

※詳細は「別添説明資料」を参照